

平成27年度 事業計画

和歌山県は、平成25年度の「伊勢神宮式年遷宮」からの誘客、平成26年度の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年、平成27年度の「高野山開創1200年」、平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」放映と観光振興の絶好のチャンスである「ゴールデンイヤー」を迎えています。昨年度は、ゴールデンイヤーの中核年に位置づけ、世界遺産登録10周年を契機とした「和歌山destinationキャンペーン（わかやまDC）」を開催しました。「手づくりのDC」「わかやまブランドの拡大」「持続可能な観光」をコンセプトに、期間中を和歌山の観光資源・商品の展示会として位置づけ、従来の観光資源に加え、地域の皆さまとの協働による商品づくりやメディアを通じて徹底的な魅力発信を行いました。その結果、期間中には前年同期比107.7%のお客さまにお越しいただき、直接消費額については前年同期に比べ約27億1千万円の増加となりました。特に、インターネット系の大手旅行会社の伸び率で、本県が全国第2位になったことは、「わかやまDC」を契機に実施した独自の広報展開の成果であります。

和歌山県観光連盟は、わかやまDC推進協議会事務局の一員として、観光連盟が蓄積している地域やメディアなどマーケットとの太いパイプを活かし、特に広報展開では中核的な役割を果たしてまいりました。

今年は「高野山開創1200年」の年であります。すでに平成26年度までの取り組みにより、各種メディアでの露出が急増し、旅行商品も造成されています。「高野山開創1200年」を大法会期間中のものとすることなく、「開創イヤー」と位置づけ、各種キャンペーンを県と協働で展開するとともに、旅行プランの提案やメディア対策、コンベンション誘致など観光連盟の持つ強味を活かした取り組みを実施します。また、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」については、観光事業者のホスピタリティの向上を図り、お客さまの再訪意欲の向上に努めるとともに、充実した競技施設を活用するため、スポーツ合宿の誘致についても、県関係部局と連携してまいります。

また平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」の取り組みでは、放映を契機に設置される観光客誘致を目的とした県や地域、関係団体で構成する推進協議会に参画します。推進協議会では「大河ドラマ展」を運営するとともに、紀北筋を中心とした県内周遊プランや各種おもてなし企画を設定するなど、地域の集客力を高める取り組みを行います。また、観光連盟では、フィルムコミッション事業として番組や大河紀行のロケ誘致に努めるとともに、各種メディアからの発信や旅行商品の造成依頼活動を展開してまいります。

これら「ゴールデンイヤー」の取り組みに加え、和歌山県を代表する観光情報誌「紀州浪漫」の発行部数を大幅に拡大し、全国の主要書店で展開するとともに、全国のメディアに対する本県の魅力やロケ地の提案活動、ホームページの充実により情報発信に努めます。

また、世界最大級の観光展「ツーリズムEXPOジャパン2015」などの効果的な展示会に出展します。

外国人観光客の誘致については、平成25年に対前年比80%増の過去最高の21万人を記録しました。平成26年については、前年を上回る約30万人を超える外国人が来県しました。観光連盟では、県と連携し、東アジアや欧米などのメディア、旅行会社のファ

ムツアーの実施や現地案内などを実施してきましたが、今年度は、増加する個人客の誘致に向け、特にメディアの招聘活動、メディアファムの実施を中心に展開してまいります。

これらの施策展開については、和歌山県観光連盟の強味であるメディアなどのマーケットや地域との繋がり、人脈を活かすことで、マーケットニーズと本県観光資源がマッチする旬の施策展開を図り、本県観光業界のリーダーとして、観光振興を図ってまいります。

1 和歌山を売り出す (18,038 千円)

(1) 観光地魅力発信 (15,022 千円)

観光地のPRとして、ロケ誘致や各種イベントでの情報発信を推進し、観光客を誘致する。

○「わかやまフィルムコミッション」による映画等のロケ誘致 20件

- ・首都圏制作会社等への誘致活動
- ・関係市町村、団体、事業者等とのロケ実施支援
- ・ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア2015への出展
- ・ロケ受入れ担当者研修会の実施

○観光キャンペーンスタッフ「きのくにフレンズ」によるPR活動 活動150日

- ・全国で展開する観光キャンペーン、イベントにおけるPR活動
- ・雑誌、新聞、テレビなどのメディア出演

○観光連盟ホームページの運営

- ・平成26年度にリニューアルしたHP「わかやま観光情報」の運営
- ・「わかぱんツイッター」による情報発信

(2) 「わかやま紀州館」における和歌山県産品宣伝 (3,016 千円) 出前紀州館12件

和歌山県から中小企業団体中央会に対し委託している「わかやま紀州館」での和歌山県産品展示運営の管理及び首都圏における和歌山県産品の調査を行う。

2 和歌山へ招く (165,814 千円)

(1) 観光プロモーション (46,512 千円)

各種メディアや大手企業とのタイアップによる情報発信、誘客プログラムの実施、集客力のある多彩な展示会等への出展、旅行商品の造成への支援など、効果的な観光プロモーション活動を展開する。

○テレビや新聞、雑誌など各種メディアを活用した情報発信及び誘客 30媒体

- ・テレビ、雑誌などのメディアへの企画提案活動による実施
- ・旬の情報を提供するプレスツアーの実施
- ・大手企業とのタイアップ事業による企業パブリシティの活用
- ・メディア向け旬の情報発信
- ・効果的な広告出稿
- ・高野山開創イヤー誘客プログラムの実施
- ・わかやまパンダ大使「岡本玲」さんによるPR
- ・和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぱん」の活用
- ・輸送機関等とのタイアッププロモーションの実施

○集客力のある展示会・イベント等への出展 5回

主な出展予定

- ・世界最大級の観光展「ツーリズムEXPOジャパン」商談会、展示会への参加、出展
9月24日～27日 東京ビッグサイト
- ・HOLIDAY2015～おもてで遊ぼう～への出展
6月 横浜赤レンガ倉庫
- ・旅まつり名古屋2015出展
3月 久屋大通公園

- 旅行商品販売のための下見支援 10件
- ・旅行会社へのPR活動
 - ・新規旅行商品造成のためのANTA加盟旅行会社へのPR活動
- (2) 和歌山観光情報誌「紀州浪漫」制作 (28,738千円) 観光情報誌4回 560,000部
 県内の旬の観光情報を掲載した情報誌を制作し、メディア、旅行代理店、輸送機関等のほかエンドユーザーへ広く提供するほか、平成27年度から、発行部数を大幅に拡大し、全国主要都市書店において展開する。
- (3) 教育旅行誘致推進 (4,909千円)
 修学旅行来県校の増加を図るための誘致活動を積極的に展開するとともに、必要な受入体制整備を図る。
- 旅行会社及び学校を対象とした現地視察の支援 視察15回
- ・民泊にかかる受入講座の実施
 - ・旅行会社向け現地研修会の実施
- 旅行会社及び学校関係者を対象にした周知活動の実施 4箇所
- ・修学旅行セミナーの実施
 2月 東京都
 - ・旅行会社や学校へのセールス活動
- (4) 戦略的首都圏対策 (42,416千円)
 情報発信の一大拠点である首都圏にて、和歌山講座など和歌山の魅力を知ってもらう活動に加え、メディアや旅行会社へのセールス活動を展開することで和歌山県の魅力を発信し、認知度を向上させると共に、首都圏から誘客を図る。また、6年目を迎える首都圏キャンペーンを実施し、集中的な情報発信と具体的な誘客施策を展開する。
- 「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」の実施
- ・メディアや旅行会社を対象としたオープニングイベントの実施
 - ・和歌山県ゆかりのスポット・スタンプラリーなどのキャンペーンイベントの実施
 - ・駅などでのキャンペーン広告
- メディア対策 プレスツアー 20人
- ・メディア向け企画提案活動
 - ・プレスツアーの実施
- 旅行会社対策 ファムツアー 20人
- ・旅行会社へのPR活動
 - ・ファムツアーの実施
- わかやま講座の実施 15講座 受講者 約1,500名
- ・大学連携公開講座の開催
 - ・ツアー造成をねらいとした旅行会社連携講座の実施
 - ・カルチャーセンターなどの連携講座の実施
- (5) 観光センター運営 (28,249千円)
- わかやま紀州館の運営
 - 名古屋観光センターの運営

(6) 国際観光推進 (14,990 千円)

アジア市場では、増加する個人客に対応するため個人客向けの旅行プランを充実させるとともにメディアへの露出を拡大します。また、欧米豪市場では、高野山開創1200年を迎え、ブランド力の高い世界遺産の魅力をさらに伝えるため、メディア対策を強化します。

- 海外メディアにおける情報発信 16件
 - ・メディアへのプロモーション活動
 - ・メディアファーム受入

3 和歌山でもてなす (3,864 千円)

「ほんまもん体験」プログラムの品質向上及び紀州語り部の資質向上を図り、人材育成に資する。

- 体験事業者・インストラクター現地研修会 2カ所
 - ・体験プログラムの充実や受入体制の強化

- 紀州語り部研修会 参加者延べ150人
 - ・語り部の資質向上のための研修会を実施

- 紀州語り部連絡会 1回
 - ・語り部同士の連携、情報交換会の実施

- 紀州語り部のガイドレベルアップ支援事業 4団体
 - ・語り部団体を行うレベアップ研修に対する支援

4 コンベンション誘致推進 他 (17,627 千円)

(1) コンベンション誘致推進 (15,277 千円)

近畿規模以上の大会、学会（いわゆるコンベンション）やスポーツ大会を誘致し、交流人口の拡大による観光振興を図る。

- コンベンション主催団体に対する助成金交付 25件
 - ・コンベンション専門紙の広告掲載
 - ・旅行会社や学会関係者等への誘致活動
 - ・コンベンション限定展示会「国際ミーティング・エキスポ I M E 2 0 1 5」へ出展

- 観光パンフレットなどのツール提供 20件

(2) 和歌山ファンクラブ運営 (1,350 千円)

県内外の方々に和歌山を知っていただき、リピーター化を促進する「和歌山ファンクラブ」を運営する。

(3) 公益社団法人日本観光振興協会、近畿府県観光連盟との広域観光振興を推進 (1,000 千円)

公益社団法人日本観光振興協会及び近畿2府5県と共同事業を実施 観光展2回

5 熊野古道宿泊施設運営 (6,527 千円)

高野・熊野の世界遺産登録効果を持続させるため、首都圏の団塊世代やウォーカーを主な対象に、誘客力強化に向けて整備をした「熊野古道の宿 霧の郷たかはら」を運営する。

※各事業予算には人件費を含みます。